



ほけんだより

育心保育園

TEL:(098)895-2600

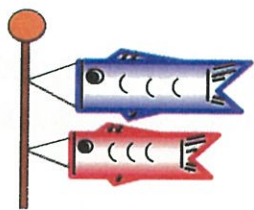
FAX(098)895-2634

看護師:比嘉久美子

子どもたちが入園して一か月が経ちました。

子どもたちも、新しい環境にだいぶ慣れてきましたが、一方で疲れが出てきて体調を崩しやすくなる時期です。

5月は、ゴールデンウィークもあり、お出かけの機会も多いと思いますが、無理のない計画でたくさん楽しんでください。



●4月の保健（26日現在）

- 溶連菌感染症（3人）・とびひ（3人）・突発性発疹（1人）
- その他発熱、鼻水、下痢でのお休みがありました。

保育所で預かる薬について



- 原則として当園では、薬のお預かりは行っておりません。
主治医の診察を受ける際に保育園では、原則として使用できないことをお伝えください。
- やむを得ず薬を持参される場合は、1回分のみ持参してください。
- お子様を診察した医師の処方以外はお預かりできません。
- 薬に必ず名前を明記してください。
- お子様の薬は、万全を期するため「与薬依頼書」に必要事項を記載して頂き、「薬の説明書」を薬に添付して職員に直接手渡していただき、お便り帳にも記載してください。
シロップ剤については量も記載をお願いします。

麻疹（はしか）について

※県内で、はしかが流行っています。はしかって、どんな病気かについて確認していきましょう。

はしかとは・・・高熱や咳などで体力の消耗が激しく、肺炎や中耳炎など合併症も多い、ときには合併症で日本においても命を脅かすことのある注意すべき感染症です。非常に感染力が強く 空気感染するため 手洗い・マスクでも防ぐことはできません。

麻疹ウイルスそのものに効く薬はないので、かかってしまったら症状に対して和らげるための治療を行うことしかできません。

裏面もご参照ください。

麻疹(はしか)は、とっても怖〜い病気

- ①. 潜伏期間: ウイルスに感染した後、約11日間の潜伏期間があります。
 - ②. 前駆期(カタル期): まず38~39°の熱がでて、鼻汁、咳、白目が充血し、目やにがでる、などの症状が現れます。この時期を前駆期(カタル期)といいます。
 - ③. コプリック斑: これらの症状に引き続いて、発疹が出現してきますが、発疹出現の1~3日前に、頬の内側にコプリック斑という粘膜疹が、みられます。このコプリック斑は、麻疹患者の90%以上に見られますので、発疹出現前の早期診断に役立ちますが、2~3日の間に消失します。
 - ④. 発疹期: カタル期の高熱は、コプリック斑が見られるころに少し低下しますが、再び高熱がみられるようになり(この発熱パターンを2峰性発熱といいます。)、同時に麻疹特有の発疹が、耳介後部、頸部より出現し、24時間以内に顔面、上肢、胸部に広がります。(この時期を発疹期といいます。)
- 発疹出現後2日目には、背部、腹部、下肢にも広がっていきます。発疹3日目には、足に達しますが、その頃には、顔面の発疹は薄くなってきます。
- ⑤. 回復期: 発疹の性状は、初めは、円形、卵円形の紅斑ですが、やがて融合して、不規則な紅斑になります。健康な皮膚との境界は明らかで、色は淡紅色から暗色となり、日数がたつにつれて、色素沈着といって、暗赤紫色の発疹に変わっていきます。(回復期)

この高熱や発疹は、1週間くらい続いて、その間、食欲不振、不機嫌、ひどい咳が続きます。完全に治るまでは、次に述べる合併症がない場合でも、10日間~2週間くらいかかります。また、抵抗力の弱い人は、生命が脅かされる場合もあります。

~とても、おそろしい病気なのです。~

